AHMADIYYA MUSLIM ASSOCIATION

アハマディアムスリム協会概略

日本アハマディア・ムスリム協会

誕　　生

全世界にその活動を拡げているアハマディアムスリム協会は、1889年インド、パンジャブ州の小さな村、カーディアンで、創設された。その創設の師、ハズラト・ミルザ・グラーム・アハマドは、自分こそが世界中の種々の宗教の信徒達によってそれぞれ異った形と呼び名で待ち望まれていた、〝約束されたメシア〟その人であると主張した。つまり、ヒンズー教徒はクリシュナを待望し、キリスト教徒はメシアを待望し、仏教徒は釈迦を待望し、イスラム教徒は、メシアと同様にアル・マハデイを待望してきた。神聖なる導きによって、ハズラト・アハマドは、これら全ての約束された救済者達を代表して、唯一この人こそが救済者だという形で劇的な出現を遂げたのであり、このようにして、人類は終局的な唯一世界にあまねく宗教の中に包みこまれることになったのである。更に、彼は〝約束されたメシア〟は彼自らの全く自由な立場で突如出現されるべきものではなく、ただ、イスラムの聖なる予言者（モハンマド）に次ぐ継承者としてのみ現われるべきだということを主張した。全人類にとって人生の究極的に完壁な掟はイスラム教であると彼は信じ、従って待ち望まれた救済者というものは、ハズラト・モハンマド（彼に平安あれ）に次ぐ予言者としてイスラム教徒の中から出現するはずだと唱えた。これまで人が夢見、渇望して来た唯一世界にあまねく宗教の黄金時代は、彼の出現によって遂にその到来を告げることになろうと彼自身述べている。これは、彼のつましく目立たない人生の滑り出しに比べると、身の丈に余る程の大きな主張であったのだが、宗教的現象一般の傾向としては、決して例外的なことでも何でもなかった。

時を経ずしてこの協会は、有望で力強い宗教として全世界に畏敬と驚きの念を持って認められるようになった。世界の他の全ての宗教に対しイスラム教の大義をそれらに卓越するものとして厳然と闘いを展開し、これを勝利に導くこととなったのである。〝約束されたメシア〟は言われる。**「この聖戦は、具体的な武器をもって闘われるものではない。」**と。刀剣が抜刀されることはなく、爆

弾が使用されることも決してない。つまりこれは宗教的真理に基づいた理性と論議という武器で闘われる完全に精神的な戦いなのである。世界秩序の完全な変革というものは、信仰、論議、寛容、そして忍耐を通して探求されるべきものである。宗教の名のもとに、一滴の血も流されるべきではないが、真理の伝道に対し、これに敵対し相反する他の諸々の勢力によって、アハマディア信徒達に犠牲を強いられることがあれば、彼らは喜んでそれを甘受するだろう。以上がアハマディアムスリム教会についての概略である。

ハズラト・アハマドの死去と継承者

1908年、ハズラト・アハマドは死去し、選ばれた継承者によってその後は引き継がれた。つまり、カラファト制度は、カラファテラシェダ—換言すれば、イスラムの聖なる予言者（彼に平安あれ）の死後に引き継がれたカラファト制度のある黄金時代—の伝統の中、長かった中断の後に再現されたのである。ハズラト・アハマドに対する精神的な継承者は、このようにして「カリファ」と名付けられ、アハマディアムスリム協会の精神的、宗教的、管理上の首長である。カリファは終身の地位として選ばれる。現在のカリファは四世、ハズラト・ミルザ・ターヘル・アハマドであり、1982年、先達ハズラト・ミルザ・ナーセル・アハマドの死後選出された。

アハマディア推定信徒数

各種推計によると、アハマディア協会信徒数は全世界約百ヶ国に及び、その数約一千万を擁しパキスタン、インド、インドネシアそして多くの東西アフリカ諸国において有勢である。また米国同様他の多くのアジア、ヨーロッパ各国にも定着している。これまでのところ、アハマディア協会は南米と極東の国々では微力で、存在感も薄かったが、それらの地域にも勢力拡大の行進は、新たな地平をめざして進行中である。

東欧諸国の状況をいうならば、今世紀30年代には、ハンガリーのイスラム教徒達はかなりの数のアハマディア協会信徒を受け容れていた。しかし、革命後は彼等の総本部との連結は断たれてしまっている。ソヴィエト連邦においても同様に当協会の存在は、全くその仲間入りを果たしていないとはいえない。こういう事実を認めた上で、ロシア人の学究、K. A、Antonova女史は、彼女の「アハマディアムスリム派の教義と伝承」と題する論文（"Religiyai Obschchestvennaya Musl. Norodov Vostoka " 東側諸国の人々、モスクワの宗教とムスリム社会、103〜105頁）の中で次のように述べている。「アハマディア協会は世界の殆んどの国においてその支部を築くという栄誉に浴している」と。この協会の種はポーランドやユーゴスラビア等、他の東欧の国々にもまかれてきた。ポーランドでは、アハマディア協会はポーランド人のアハマディア信徒を主任宣教師として通常の信道の任に当らせている。

協会活動の実例－その建造物、寺院（モスク）

インド亜大陸以外の地域にも、アハマディア協会は世界の各地に五百を超すモスクを建設してきた。ヨーロッパ主要都市において、その地に最初で第一のモスクは協会の手で建てられた。ロンドンでは、1924年に最初のモスクが建築されている。今日、コペンハーゲン、グーテンボルグ、チューリッヒ、フランクフルト、ハーグ等においても、協会はこれら諸都市に初めてのモスクを建てるという比類ない名誉を得ている。1982年スペインでは、五百年前のムスリム支配の終焉以来、建てられることのなかった新しいモスクが構築され、その歴史的栄誉に浴している。1983年にはオーストラリア、シドニーにおいてもまた新しいモスクの礎石が据えられるに到った。このように毎年世界各地に新しいモスクが増え、その数は常に増加の一途にある。

財　　政

財政面においては、アハマディア協会は完全に独立採算制である。協会の運営下にある病院や教育施設からの幾分かの収益は別として、その主な財源は協会員達の自発的な献金によるものである。収入を得ている会員各自は、彼又は彼女の収入の1/16を通常の献金としている。また、それだけがすべてという訳ではない。特別な必要が生じ、カリファによって要請が出された場合には、信徒は自ら進んで熱心にこれに応えている。このような場合には男性のみならず、女性もまた力の限りこれに貢献している。協会の全てのモスクはこのような通常以外の献金によって建てられたものである。例えば、ロンドン、コペンハーゲン、そしてハーグにある三つの美しいモスクは、全て婦人達の貢献によって建てられたモスクである。

アハマディア協会が財源として確保可能な金額は、その年収のみで測られるものではない。協会勢力の主柱というものは、むしろその献身と奉仕の精神の中に存在するといってよい。自らの意志により奉げられる会員達の奉仕時間は毎年数億時間にものぼるのである。

聖典クルアーンの翻訳

アハマディア協会がイスラム教に対し、提供する栄誉に浴している最大の奉仕というものは、種々の言語に聖典クルアーンを翻訳且つ出版していることである。現在までに聖典は、英語、ドイツ語、オランダ語、デンマーク語、ローガンディ語、グルムキ語、ヨルバ語、インドネシア語、スワヒリ語、そしてエスペラント語として出版された。フランス語、ロシア語、イタリア語、韓国語への翻訳もまた完成され出版の日も近い。そして他の数多くの言語への翻訳の仕事も絶え間なく続いている。アハマディア協会による翻訳の質と水準は、世界の名だたるイスラム教徒及び非イスラム教徒いずれの学者達によっても、認められ賞賛を得てきた。

その他著作物

イスラム教に関する著作の分野でもまた、アハマディア協会はかなりの貢献をなし遂げてきた。人類が興味を抱く種々のトピックについて世界中の主要言語の殆んど全てを用いて広い分野に及び、面白い著述がなされ出版されている。聖典クルアーンとハズラト・モハンマド（アッラーの平安と恵みが彼にあるように）の言い伝えが記された後では、ハズラト・ミルザ・グーラム・アハマド（彼に平安あれ）によって書かれた80冊以上の本やパンフレットがアハマディア協会にとって著作の主流をなしている。また、アハマディア信徒の多くの文章家達の手になる。無尽蔵の学究的著書がこれらに続いて出版されている。例えばモハンマド・ザファルラー・カーン、前国連総会議長の場合、彼自身の著作やそれらが英訳された数々の書物を表わしたことで、アハマディア協会の著作活動に貢献している。

新聞及び雑誌

協会はまた、多くの新聞、雑誌を世界各国の多くの言葉で発行している。以下にあげたものはそれらのうち幾つかの実例である。

Review of Religions	(英　　語)
The Daily Al-Fazle	(ウルドゥー語)
Sinar Islam	(インドネシア語)
Al Bushra	(アラビア語)
Le-Message	(フランス語)
Der Islam	(ドイツ語)
Al Islam	(ポーランド語)

保健、教育分野における貢献

限られた財政にもかかわらず、教育及び医療施設の必要性というものを、協

会は無視したことはなかった。この方面の主な活動はガーナ、ナイジェリア、シエラレオネ、ガンビア、コートジボアール、リベリア、そしてウガンダ等の国々に見られる。その私欲を離れた献身的精神と活動の優秀さは、どの国においても深く感謝されている。

人類を万国共通の一つの同胞愛に導く統一

アハマディア協会が世界中各地へ拡大するにつれて、協会は世界中の種々の人々の間に、万人共通の愛と同胞意識の繋がりを育ててきた。これは単に、魅力的な一つのスローガン、というにとどまらず、非常に生き生きとした行動的で進歩的な現象なのである。皮膚の色や人種や国籍等というどんな障壁も、この気高い偉業をなし遂げようとする道には立ちはだかることは許されない。人類の統一にむけて地球上のいたるところでアハマディア協会は無欲で疲れを知らぬ活動を続けてゆくのである。

アハマディア ムスリム協会概略

A BRIEF INTRODUCTION OF THE
AHAMADIYYA MOVEMENT

●翻　訳　者　菊地眞理子
TRANSLATION BY MRS. MARIKO KIKUCHI
●発　行　者　日本アハマディア・ムスリム協会
●発　行　所　アハマディア・ムスリム・センター
〒465 名古屋市名東区貴船2－1602
TEL (052) 703－1868　(03) 849－7899
●ADDRESS　AHMADIYYA MUSLIM CENTER
2－1602 KIFUNE, MEITOKU,
NAGOYA, 465 JAPAN
●印　刷　所　いろは株式会社 (印刷部)
昭和62年2月20日発行 (1987)

日本における協会の歩み

The Japan Mission

ここで日本国内の布教活動についてお話しすると、1935年に神戸で１番最初に活動が始まり、インドからのスーフィー・アブドゥル・カディール氏が巡遣されました。２年後の1937年にアブドゥル・ガフール氏がもう１人の伝道者として派遣されてきました。1941年、第２次世界大戦による困難の中で、外国からの伝道者の活動はできなくなりました。1969年になって、新たなスタートをきり、アブドゥル・ハミード氏が来日しました。東京に日本本部が作られ、活動を始めたのです。そして1975年にアタウール・ムジーブ・ラシェド氏が彼と交代しましたが、1983年にはイギリスに転任されました。その後1979年に来日していたマグフール・アハマド・ムニーブ氏が主任宣教師となり今日に至っております。

1981年には日本本部は東京から名古屋に移り、１軒の家を買い取って、そこをセンターとして日本人にイスラム教の教義を理解してもらうために、協会活動に関する文書やパンフレット類を作成、配布し「イスラムの声」という季刊紙も発行しています。

日本に幸せの輪を広げて

アハマディア・ムスリム協会には、婦人会、子供会、また、青年会、壮年会等があり、それぞれ自分の年令や性別に合せて教育活動を行っています。その他、スポーツクラブがあり、毎年キャンプ、サイクリング、その他のスポーツ大会が催されており、特にアハマディア・スポーツクラブのボーリング大会はよく知られています。

名古屋と東京のミッションセンターでは、様々な悩みや相談事を持つ人々への精神的助言をしています。例えば家族関係や子供のこと、広く人生一般の問題などが挙げられます。

こうして我がアハマディア・ムスリム協会の１人１人が、日本の人々に幸福な社会への道案内をしながら、お互いの信頼を強めつつ、幸せの輪を広げたいと願っています。現在この輪は確かに小さいけれども、きっと大きく広がっていくことと信じています。できるかぎり早く日本の人々が、１人１人、イスラムの光で星のように輝いて日本全体を輝かすようにと、心からお祈りいたします。

Japanese Translation of
A BRIEF INTRODUCTION TO THE AHMADIYYA MOVEMENT

The Ahmadiyya Community, a worldwide movement in Islam, was founded in Qadian (1889), a small village in Punjab, India which is also birth place of its founded Hazrat Mirza Ghulama Ahmad who claimed to be the Promissed Reformer whose advent was awaited under different styles and titles by the adherents of various religions. He believed Islam to be the final and complete code of life for all mankind. Soon the movement was to be recognized all over the world as a potent religious force, championing the cause of Islam.

When Hazrat Ahmad (1835 ~ 1908) died, he was succeeded by an elected successor, entitled "Khalifa" is the spiritual, religious and administrative head of the Ahmadiyya movement in Islam.

According to various estimates the Ahmadiyya Community members are about ten million all over the world in more than hundred different countries. Besides the Indian continent, the Ahmadiyya Community has built over five hundred mosques in different parts of the World.

In matters of finance the Ahmadiyya Community is self supporting and completely independent. A part from some income from hospitals and educational institutions, run by the Community, the main part of income comes from Voluntary Contributions of its members, who pay 1/16th of their income regularly. But the main stay of the community strength is in the billions of hours of voluntary service by its members every year in the way of God.

One of the greatest service to Islam is that the Community has the honour to render the translations and publications of the Holy Quran into various languages.

In the field of Islamic literature, attractive literature has been produced on topics covering a wide field of human interest in almost every major language of the World.

The Community has also established schools and hospitals in a number of African countries. The Community has created a bond of universal love and brotherhood among various people of the World. Everywhere on the globe the community is working selflessly and tirelessly towards the unification of man.

上のカットはアラビア語で書かれ、その意味は、星型は「仁慈あまねき、慈悲深き神の御名において」月型は「アッラーの他に神はなく、モハッマドはアッラーの使者である」